

【四字熟語】 資料集

合縁奇縁	あいえんきえん	人と人とのめぐり逢いには縁という不思議な力が働いているということ
安心立命	あんしんりつめい	人力を尽くしてその身を天命に任せ、どんな 場合にも動じないこと。
意気衝天	いきしょうてん	意気込みが天を衝(つ)くほど、激しく盛んなこと。
異口同音	いこうどうおん	多くの人の意見が一致すること。 「—に賛成する」
一言居士	いちげんこじ	どんな事についても、なにか自分の意見を言わないと気のすまない人。
一網打尽	いちもうだじん	犯人などをひとまとめに捕らえること。「密輸グループを—にする」
一挙両得	いっきりょうとく	一つの行為で、同時に二つの利益が得られること。
一瀉千里	いっしゃせんり	物事が速やかにはかどり進むこと。文章や弁舌のよどみないことのとえ。 「仕事を—に片付ける」
一知半解	いっちはんかい	生半可な知識や理解しかないこと。 「彼は—の専門用語をふりかざしてる」
意味深長	いみしんちょう	表面上の意味のほかにも別の意味が隠されていること。「—な言い回し」
有為転変	ういてんぺん	この世が無常で、はかないものであるたとえ。諸行無常「—は世の習い」
紆余曲折	うよきよくせつ	事情が込み入っていて解決に手間どること。
汚名返上	おめいへんじょう	新たな成果を挙げて、悪い評判をしりぞけること。
乳母日傘	おんばひがさ	子供、特に幼児が必要以上に過保護に育てられること。
快刀乱麻	かいとうらんま	こじれた物事を非常にあざやかに処理し解決すること。
花鳥風月	かちょうふうげつ	天地自然の美しい風景
画竜点睛	がりょうてんせい	物事を完成するために、最後に加える大切な仕上げのたとえ。 「—を欠く」
汗牛充棟	かんぎゅうじゅうとう	蔵書が非常に多いことのとえ
氣宇壮大	きうそうだい	度量・構想などが並はずれて大きいさま
旗幟鮮明	きしせんめい	主義主張や態度などがはっきりしているたとえ。
氣息奄々	きそくえんえん	息も絶え絶えで、今にも死にそうなさま。
強迫観念	きょうはくかんねん	考えまいとしても脳裏に浮かび、自分の意志では払いのけられない観念。 「—にとられる」
局面打開	きよくめんだかい	行き詰った状況を切り開いて、新しい方向を見出すこと
欣喜雀躍	きんきじゃくやく	小躍りするほど大喜びをすること。

群集心理	ぐんしゅうしんり	群集の中に生まれる特殊な心理状態。
月下氷人	げっかひょうじん	仲人。媒酌人
牽強付会	けんきょうふかい	道理に合わないことを、自分に都合の良いうように無理にこじつけること。「一の説」
堅忍不拔	けんになふばつ	どんなことがあっても心を動かさず、じっと我慢して堪え忍ぶこと。
厚顔無恥	こうがんむち	厚かましく、恥知らずなさま。
口頭試験	こうとうしもん	試験官の質問に対し、口頭で答えさせる試験。口述試験。
吳越同舟	ごえつどうしゅう	仲の悪い者同士でも同じ災難や利害が一致すれば、協力したり助け合ったりするたとえ。
小春日和る。	こはるびより	晩秋から初冬にかけて、穏やかで暖かい天候のことである。

陰暦 10 月の頃

才色兼備	さいしょくけんび	すぐれた才能と美しい容姿の両方をもっていること。
四角四面	しかくしめん	ひどくまじめで堅苦しいこと。非常にかしこまっていること
時期尚早	じきしょうそう	その事を実行するには、まだ時が早過ぎること。
獅子奮迅	ししふんじん	猛烈な勢いで活動すること。▽「
舌先三寸	したさきさんずん	うわべだけのうまい言葉で、心や中身が備わっていない事
実力伯仲	じつりょくはくちゅう	力がつりあっていて優劣のつけがたいこと。
四面楚歌	しめんそか	周りを敵や反対者に囲まれて孤立し、助けのない状態のたとえ。孤立無援。
秋霜烈日	しゅうそうれつじつ	日本の検察官が付ける検察官記章(バッジ)のデザインに対する呼称。
首尾一貫	しゅびいつかん	方針や考え方などが始めから 終わりまで変わらないで、筋が通っていること
上意下達	じょういかたつ	上位の者の意志や命令を、下位の者に徹底させること。
諸行無常	しよぎょうむじょう	この世の万物は常に変化して、ほんの暫くも留まるものはないこと。
支離滅裂	しりめつれつ	ばらばらでまとまりがなく、筋道が立っていないさま。
神出鬼没	しんしゅつきぼつ	行動が自由自在で、居所などの予測がつかないこと。
心頭滅却	しんとうめつきやく	心を無にすること。「一、火もまた涼し」
晴耕雨読	せいこううどく	悠々自適として自然のままに生きるさま
青天白日	せいてんはくじつ	潔白で後ろ暗いことのないことのたとえ
切磋琢磨	せつさたくま	友人同士が互いに励まし合い競争し合って、向上すること。
千載一遇	せんざいいちぐう	滅多に訪れそうもないよい機会。「一の好機」

前代未聞	ぜんだいみもん	今までに一度も聞いたことがないこと。
大器晩成	たいきばんせい	大人物は世に出るまでに時間がかかるということ。
大悟徹底	たいごてっぺい	すべての迷いを打ち破り、煩悩を離れて悟りきること。▽
泰然自若	たいぜんじじゃく	落ち着いていてどんなことにも動じないさま。
多士濟々	たしせいせい	すぐれた人物が数多くいること。
朝三暮四	ちょうさんぼし	目先の違いにとらわれ、結果が同じになることに気がつかないこと。言葉たくみに人をだますこと。
適材適所	てきざいてきしょ	その人の適性や能力に応じて、それにふさわしい地位・仕事に就かせること。
天衣無縫	てんいむほう	物事に技巧などの形跡がなく自然なさま。
同工異曲	どうこういきよく	見た目は異なるが、内容は似たり寄ったりであること。
内憂外患	ないゆうがいかん	国内にある心配事と外国から受ける心配事。
二束三文	にそくさんもん	売値が非常に安いこと。
博覧強記	はくらんきょうき	広く書物を読み、いろいろな事をよく記憶していること。
美辞麗句	びじれいく	美しく飾りたてた言葉や文句。 「—を並べたてる」
百戦錬磨	ひやくせんれんま	数々の実戦で鍛えられること。また、多くの経験を積んでいること。 「—の兵」
比翼連理	ひよくれんり	夫婦・男女間の情愛の、深く仲むつまじいことのたとえ。
不言実行	ふげんじっこう	あれこれ言わず、黙ってなすべきことを実行すること。
不撓不屈	ふとうふくつ	強い意志をもって、どんな苦労や困難にもくじけないさま。 「—の精神」
粉飾決算	ふんしょくけっさん	財政状態等を実際より過大または過小に表示するように人為的操作を加えた決算。
暴飲暴食	ぼういんぼうしょく	
満身創痍	まんしんそうい	ひどく非難されて痛めつけられること。
無念無想	むねんむそう	無我の境地に入り、無心になること。
面従腹背	めんじゅうふくはい	表面では服従するように見せかけて、内心では反抗すること。
門戸開放	もんこかいほう	制限をなくし自由に出入りできるようにすること。
優柔不斷	ゆうじゅうふだん	ぐずぐずして、物事の決断がにぶいこと。
勇猛果敢	ゆうもうかかん	勇ましくて力強く、決断力のあるさま。
流言飛語	りゅうげんひご	口づてに伝わる、根拠のない情報。 「—が飛び交う」
理路整然	りろせいぜん	話などの筋道が整っているさま。
和魂洋才	わこんようさい	日本人が伝統的な精神を忘れずに西洋の文化を学び、巧みに両者を調和させること。